

6月になりました。

紫陽花が色づき始めました。いつも本校教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

5月18日の運動会には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、温かい応援をしていただきありがとうございました。また、前日準備や当日の後片付けにお力添えをいただいた保護者の皆様にも、たいへん助けていただきました。ありがとうございました。

学校では、新学期が始まった直後から、運動会に向けての取り組みが始まりました。特に、6年生は実行委員を中心に応援の仕方について考え、全校に広める活動に熱心に取り組む様子が見られ、頼もしく感じました。各学年の団体演技でも、「自分たちで考える」場面があり、意欲的に取り組んでいる様子が窺えました。当日は体調不良等で参加できない児童もありましたが、当日までの取り組みや運動会を見ることで、何かを感じてくれていることと思います。一つの大きな行事を乗り越えて蓄えた力を今後活かしていきたいと思えます。

6月は梅雨の季節に入ります。空が晴れないと心も晴れない日がありそうですが、「にっ」と笑って楽しいことに取り組んで、幸せを感じながら過ごしていきましょう。今月もよろしく願いいたします。



縦割り活動で、「おもいやり」「つながり」「ちょうせん」

新学期が始まってから、1年生と6年生が一緒にお弁当を食べる様子が見られました。また、6年生が掃除の時間に1年生の教室へ行き、掃除の仕方を教える姿も見られます。先日は、サツマイモの苗を一緒に植えました。右の写真は、その翌日の朝、水やりをしている様子です。微笑ましい光景でした。縦割り活動をとおして、1年生は6年生の優しさに触れ、憧れの気持ちをもっているように感じました。また、6年生は、自分より小さい人たちに優しく丁寧に話しかけている様子から、思いやりの気持ちが感じられました。



同級生だけでなく、異学年の人たちとの縦割り活動は、社会性や協調性を育むことにつながると考えます。また、新しい人間関係ができることで、考え方を広げたり多様性を認めたりする力にもつながると考え、大事にしていきたい活動です。

そして、5、6年生の「ゆめタイム」も始まりました。「ゆめタイム」は、子供たちが課題意識をもって学校生活を見つめ直し、「こんな学校にしたい」という願いをもとに活動を創造し、実践していく取り組みです。仲間と協働して願いを実現させていく過程で、自分の良さを発揮できたことを自覚したり、互いの頑張りを認め合えたりするところも、「ゆめタイム」のねらいです。

主体的な活動をとおして、自己有用感を高めていくことともに、全校児童を巻き込んで、みんなでより良い学校づくりに取り組みたいです。